

湖ゼオライトで浄化実験

諏訪建設事務所 窒素吸着アオコ防ぐ

県諏訪建設事務所(諏訪市)は、信大工学部の梅崎健夫准教授(45)や県内外の七つの企業と共同で、諏訪湖底の泥に窒素分などを吸着する鉱物「ゼオライト(沸石=ふっせき)」をませ込み、水質を改善する浄化実験を進めている。アオコの原因となる窒素が泥から水中に溶け出すのを防ぐのが狙いだ。底泥をさらうしゅんせつと違って、

泥の搬出先が不要となる利点がある。しゅんせつに替わる浄化策として、同建設事務所が採用を検討する七種類の対策技術の一つ。実際に実験を行うのは今回が初めてで、水が張る前まで続ける。諏訪市湖岸通り一にある実験地には、岸に接するように幅六尺、奥行き四尺の区画を三カ所に設定。このうち二カ所で

は、湖底から取った泥を脱水してゼオライトをませ込むことで窒素やリン、悪臭のもとになる硫化水素が溶け出さないようにする。その上でゼオライトを敷いた湖底に戻す。ほかの二カ所にはゼオライトを敷くだけ。

周囲から汚れが入らないよう、実験区画の周りにはゼオライトを詰めた布袋を積む。ゼオライトを敷くだけの二カ所のうち片方では、布袋の中身を一部変え、窒素などが入るようにして効果を比べる。

ゼオライトを敷くだけの二カ所は造成が終わっており、もう一カ所は四月以降の造成となる。梅崎准教授は「使用するゼオライトは天然鉱物で薄緑色の粒。岸に敷き詰めると、砂地のなごさのようになり、子どもの水遊び場にもなる」とし



ゼオライトを使った浄化実験が進められている諏訪湖の実験区画。造成工事で指示をする梅崎健夫准教授(左)

南信

天気

6時 9 12 15 18 21 24
気温 最高 最低

辰野町 0 0 0 4 3 3 3

駒ヶ根市 0 0 2 5 3 6 6

松川町 0 0 2 5 3 4 6

阿智村 0 0 2 5 3 4 6

阿南町 0 1 4 7 3 6 6

濃5%以上
薄5%未満
マークの下は
予想降水量
[1面参照]